

## プロジェクトチームのこれまでの活動状況等について

平成22年11月30日

安全確認 P T

- 2010(H22). 8.17 福島第一原子力発電所3号機におけるプルサーマル実施に係る安全確認のためのプロジェクトチームを設置
- 8.20 第1回プロジェクトチーム会議で、MOX燃料装荷及び装荷後の運転スケジュール等を確認、運転開始後に報告を受けるべき監視項目等を検討。
- 8.21 プロジェクトチームによる現地確認【第1回】  
◎MOX燃料の装荷状況
9. 3 プロジェクトチームによる現地確認【第2回】  
◎制御棒駆動水圧系機能検査の状況他
- 9.10 第2回プロジェクトチーム会議で、1F-3における定期事業者検査の実施状況、運転開始後に報告を受けるべき監視項目等を確認。  
※ 監視項目：停止余裕、最小限界出力比、燃料棒最大線出力密度、燃料集合体最高燃焼度
- 9.17 プロジェクトチームによる現地確認【第3回】  
( ◎1F-3の原子炉起動（制御棒引抜き～臨界）状況、非常用炉心冷却系機能検査状況確認  
起動準備の最終確認中に非常用炉心冷却系の表示ランプに不具合が発生し、起動準備中断（22:41）
- 9.18 起動延期を決定（1:30）  
非常用炉心冷却系の表示ランプの作動を確認後、原子炉起動操作開始（制御棒引き抜き開始）（10:20）  
臨界到達（13:20）
- 9.23 1F-3発電開始（調整運転）
10. 7 プロジェクトチームによる現地確認【第4回】  
◎運転開始後の安全監視情報のデータ確認、高圧注水系機能検査・原子炉水サンプリング及び排ガス放射線モニタ等の状況についての現場確認
- 10.27 第3回プロジェクトチーム会議で、3号機の定期事業者検査結果や3号機の安全監視情報等について確認。

## ※ プロジェクトチームの今後の活動について

- 1 3号機の定期検査終了後は、従前どおり安全監視情報の情報提供を受けた都度確認し、県のホームページにその確認結果を掲載する。
- 2 四半期毎に開催する定例の福島県原子力発電所安全確保技術連絡会において、当該期間の確認結果をまとめて報告する。
- 3 3号機において安全確認が必要なトラブル等が発生した場合には、上記により安全監視情報の提供を受け確認するとともに、必要に応じて現地確認を実施し、又は会議を開催する。